

事業所名

本部町ことばの教室

支援プログラム（児童発達）

作成日

2025年

3月

24日

法人（事業所）理念	法人：本部町における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。 事業所：日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適応することができるよう適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。						
支援方針	利用児が、日常生活を円滑に営むことができるよう、適切な援助を行う。						
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○日常生活において、できることが増やせるように基本的生活スキルの獲得を目指す。（排泄、着脱、食事、片付け、手洗いなど） ○健康状態の維持、改善。（毎日の体温測定、体調の確認、月1回の体重測定など。） ○食育。（おやつ作り・家庭菜園）					
	運動・感覚	○粗大運動（トランポリン、バランスボール、ボールプール等）で日常生活の土台となる体づくりを行う。 ○微細運動（積木やブロック等）で、手や指の細かい動きの向上を目指す。 ○感覚の特性への対応。					
	認知・行動	○朝の会で、その日のスケジュールを確認する。 ○帰りの会をすることで、利用を終え保育園等への登園に気持ちを切り替える。 ○小集団での活動や遊びを通して、他者との適切なやりとりを学んだり、順番などのルールを守ることができるようになる。 ○場面や場所に合わせた行動を獲得する。 ○個々の発達段階に合わせた学習を行う。 ○パズルやめいろ等で、楽しみながら学習する習慣をつける。（個々の好きなキャラクター等で課題を準備する。）					
	言語 コミュニケーション	○挨拶や場面に合った言葉づかいの習得。 ○絵カードや身振り、サイン等のコミュニケーション手段の活用。 ○絵本の読み聞かせをしたり、遊びの中でいろいろな言葉かけを行い、語彙力の向上を目指す。 ○口や舌の体操、发声練習を行い、正しい発音の獲得を目指す。					
	人間関係 社会性	○小集団での活動や遊びを通して、他者との適切なかかわり方や、順番などのルールを守ることができるようになる。 ○社会体験の場を設ける（博物館、図書館、水族館の利用。消防署や防災センターの見学。）					
家族支援		○親子通園により、保護者も一緒に療育に参加してもらいながら、相談を受けたり、困り感の解消を図る。 ○連絡帳を活用。 ○電話や対面などで、隨時保護者からの相談を受付、適切な助言・情報提供を行う。	移行支援	○移行先への情報提供、連携。 ○保育園・幼稚園との情報共有。保育園や幼稚園での様子の見学。 ○入学する小学校との連携、情報共有。			
地域支援・地域連携		○自立支援協議会への参加。 ○地域行事への積極的な参加。 ○学校や相談支援事業所、併用利用先、関係機関との情報共有を定期的に行う。	職員の質の向上	○定期的な職員会議や勉強会の実施。 ○職員の各種勉強会や研修への参加。 ○職員の資格取得へ向けた支援。			
主な行事等		○季節の行事（ハロウィン、クリスマス会、ムーチー作りなど。） ○遠足（年2回）やレク大会の実施。 ○外部講師による、製作や体操教室、わらべうたの実施。 ○高齢者施設との交流。 ○誕生日会。					